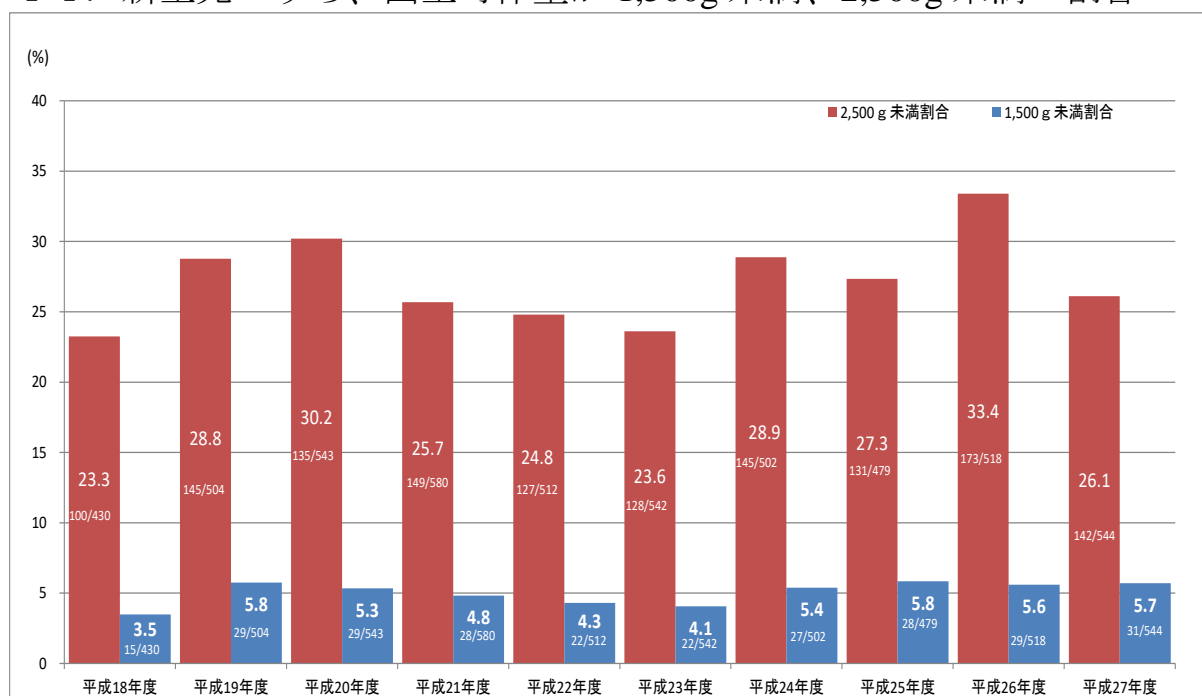


4.4. 新生児のうち、出生時体重が1,500g未満、2,500g未満の割合



低出生児の割合は、病院の機能によりこの値が大きく異なるため、他施設とのベンチマークは望ましくない。年次推移を見ることで、当院に求められる周産期のあり方を鑑みる材料になると考える。特に、ハイリスク分娩の割合や、分娩経過中の異常との関連など同時に考えなければならないデータの一つとなると考える。

データ提供 看護部 3-11 病棟 (産科)